

能登半島地震で被災された皆さまへお見舞い申し上げます  
真澄会では、神奈川新聞厚生文化事業団を通して、石川県に10万円の  
救済金をお渡ししました。

令和6年度 評議員会のご案内  
令和6年4月21日(日)13時30分～  
母校第二視聴覚室

令和6年度 総会・懇親会のご案内  
総会 令和6年5月19日(日)  
13時30分～ 母校小ホール  
懇親会 16時00分～ホテル・ザ・ノットヨコハマ  
懇親会会費 5,000円  
総会・懇親会の申し込みは、事務局へ

評議員会・総会は、オンライン参加が出来ます。  
お問い合わせ・申し込み  
TEL: 045 (311) 3356 (火曜日のみ)  
Eメール: [jimukyoku@masumikai.org](mailto:jimukyoku@masumikai.org)  
ホームページ: [真澄会](http://www.masumikai.secsite.jp/sp20/sp_main/) ← 検索



## 母校創立125周年を控えて

真澄会 会長 皆藤慎一

今年度、真澄会は奨学金の供与やグラウンド照明の設置(前年度寄付)、部活動激励金など母校支援を拡充しました。なかでも「給付奨学金」は会員の寄付が契機となり始まりました。支給を継続するためには会員の寄付に頼らざるを得ません。母校生徒の活躍も目を見張るものがあります。運動・文化の部活動が全国大会などに進出し、激励金として支援を行ないました。2025年に開催する創立125周年記念事業は母校の伝統・歴史を次世代に継承する重要な機会と考えています。前回(百周年)の経験が125周年に繋がっているように次回(150周年)に継承しなければなりません。今年は記念式典および関連イベントの準備を行い、学校関係者の記憶に残る事業にしたいと思っています。このため、会員はもとより評議員の皆さまには支援スタッフとしてのご協力いただける方を募集するとともに資金面でのご協力もお願いいたします。評議員会および総会では125周年記念事業を含め重要事項の審議をお願いします。特に会費納入方法に関わる議案は真澄会の存続に関わる課題です。また、今年は理事の改選期にあたります。新理事を迎え新たな真澄会のステップアップになることを期待しています。

### 【評議員会での主な議題】①会費納入方法の検討

真澄会では、会員の皆さまに幅広く会費を納入いただくとともに真澄会の活動状況を多くの皆さまにご認識いただく為に2021年度以降は会報の全員配付を行ってまいりました。会員の皆さまには会費を納入していただいておりますが、会費納入状況は減少傾向が続いております。今年度の状況も昨年の1月31日現在に比べ会費納付者数で78名、納付金額で43万円減少しています。このような状況の中、会費納入プロジェクトを立ち上げ、納入方法の改善案を検討してきました。組織の持続可能性を確保し、会員の皆さまによりよいサービスを提供出来るように務めるため、以下に新しい会費納入方法に関する提案をし、それに伴う会則の変更も行います。以下の方法を基本として2025年4月の実施を目指します。

- ・既存会員の「年会費2,000円」はそのまま継続とする。
- ・既存会員の「終身会費70歳選択制20,000円」は廃止し、年齢制限をなくした「一括納付会費制20,000円」に一本化する。
- ・新入会員の入会金4,000円は継続するが、10,000円加算した合計14,000円納付で一括納入会員を選択できる。
- ・卒業後5年間会費免除中の会員も10,000円納付による一括納入会員を選択できる。
- ・既存会員も含めた一括納入会員の選択制は125周年記念事業の一環として実施。
- ・本件は会則の変更を伴うため、2023年度内理事会にて実施案を決定後2024年の評議員会・総会の議案とする。

### ②奨学金規定の変更

2023年5月の総会にて、真澄会奨学金規定を見直し「貸与奨学金」を廃止し、「給付奨学金」として支給とすることをご承認いただきました。今年度母校にて奨学金受給者を募集したところ対象者10名に対して60名超の申し込みが有り母校にて選定の上、真澄会から支給しました。この制度を継続していく為に財源の確保が重要になります。皆さまのご協力をよろしくお願い致します。貸与奨学金の「返済は免除」すべきとの提案が理事会でなされ2023年9月に第1条2項に「貸与奨学金の返済は免除する。」を追加するとしました。本件は給付奨学金規定の変更となるので、2024年の評議員会・総会の議案とします。

### ③真澄会激励金交付規定改定

真澄会激励金規定の文言の解釈が難しい部分があるので改定します。(注)の項目を見直し全国大会と関東大会を明確に分け金額の限度額も区別します。また校内理事がない場合は事務局職員が対応するとします。また激励金の金額もしばらく変更していなかったため、物価上昇等を加味して倍増とします。同時に附則も訂正します。本件は真澄会激励金規定の変更となるので2024年の評議員会・総会議案とします。

### ④真澄会特別支援金交付規定改定(真澄会サポーターズ倶楽部)

真澄会特別支援金(真澄会サポーターズ倶楽部)は令和3年5月の総会で承認いただき、全国大会出場が決まった際母校からの要請で支給していましたが「申請書」の提出を受けていませんでした。理事会にて激励金交付規定に準じて「申請書」の提出をいただくこととし2023年10月の理事会で決定しました。本件は真澄会特別支援金規定の変更となるので、2024年の評議員会・総会の議案とします。

## 125周年事業に向けて

真澄会は母校と2025年11月に神奈川県立横浜平沼高等学校創立125周年記念式展を実施する事で合意し、母校・PTA・真澄会で創立125周年記念事業実行委員会を設置し記念式展の準備を進めていきます。記念式典は学校行事として2025年11月を予定。(みなとみらい大ホール、またはパシフィコ横浜大ホールを候補としています)

また、120周年の事業として計画していたものの、コロナ禍により延期していた平翠戦の開催も125周年に合わせて行う予定です。両校の学校、同窓会で合意し、かつての様な形式では開催できませんが、2024年は翠嵐高校の創立110周年記念事業として、2025年は平沼高校の創立125周年記念事業として、現役生とOB・OGチームのそれぞれの交流戦ができれば良いと考えています。

### 【組織・部会は次の通り】

125周年実行委員長：同窓会長、副委員長：PTA会長・学校長  
財務部会、記念事業部会、式典部会の3部会で進めてまいります。  
皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

## 先輩セミナーについて

2023年11月16日(木)に先輩セミナーが行われました。これは社会の様々な分野で活躍する先輩を講師として招いて行われるもので、幅広い知識や人生観にふれる機会を在校生に提供しているものです。昨年は以下の8名の講師をお招きしました。各講師が1時間ずつ2回講義をし、生徒は希望する講師のセミナーを2回受講しました。詳細はホームページをご覧ください。

### 前列左より

館野 円花(109期)昭和大学薬学部病院薬剤助教  
昭和大学病院薬剤部勤務  
古賀 菜摘(113期)ラジオ構成作家  
森 公美(79期)東京ディズニーランドパレード衣装担当  
新堀 清正(67期)元理化学分析センター長・関東学院大学講師

### 後列左より

大久保和彦(92期)株式会社ファクトリアル取締役  
清水 孝二(73期)アートディレクター  
酒井 一輝(103期)長谷川香料株式会社・栄養学専攻  
原 慎 定(75期)立正大学・仏教・宗教学教授



## 部活動等に激励金を贈呈しました

- ・ダンス部(団体)全国第16回日本ダンス部選手権新人戦出場
- ・女子ハンドボール部(団体)関東大会、令和5年度関東高等学校ハンドボール大会出場(藤沢市)
- ・かるた部(団体)第45回全国高校選手権(近江神宮)
- ・かるた部(個人)第47回総文祭鹿児島大会
- ・女子ハンドボール部(団体)インターハイ函館大会
- ・美術部(個人)第47回総文祭鹿児島大会
- ・演劇部(個人)第69回全国高等学校演劇大会
- ・女子ハンドボール部(個人)国体関東(埼玉)オール神奈川
- ・女子ハンドボール部(個人)関東オール神奈川強化合宿京都
- ・弓道部(個人)第42回関東個人選手権選抜大会
- ・かるた部(個人)第30回関東大会(埼玉)神奈川選抜チーム
- ・弓道部(男子団体)東日本大会(横須賀市)
- ・女子ハンドボール部(団体)関東選抜大会(2月・富岡市)
- ・123期11組(個人)イオンフードスタイル公開空地名称募集に応募し採用
- ・大西万愛花(個人)第16回関東甲信越高等学校英語スピーチコンテスト
- ・平井歩佳(個人)第43回全国高校生読書体験記コンクール
- ・ダンス部(団体)神奈川県ダンス新人大会 優勝
- ・女子ハンドボール部(団体)全国高等学校ハンドボール選抜大会出場

## 青春かながわ校歌祭

♪5年ぶりの参加・・・第18回青春かながわ校歌祭に、今回ようやく参加することができました。待ち遠しく楽しみにされていた真澄会員の方々、そして、神奈川県立高校の参集となりました。今回は、真澄会を含め26校の参加でした。

♪合唱団員の募集と連絡・・・事務局より、校内ポスター作成やSNSを通して募集を掛けました。残念ながら在校生の参加はありませんでしたが、約90名の混声合唱団が結成できました。合唱団の皆さんが、真澄会のSNSを柔軟に受け入れてくださり、連絡等も例年よりスムーズでした。

♪練習・・・母校の協力もあり、母校小ホールにて練習を行うことができました。合唱団は、7月から5回の練習を重ね、当日も午前中に仕上げ練習をして本番に臨みました。

♪本番・・・真澄会合唱団は、母校校歌に加えて、「Tomorrow」という曲を歌いました。「明日(未来)への希望を…」イメージする合唱曲です。曲の後半は観客の手拍子も加わって素晴らしいものとなりました。他校もさまざまなパフォーマンスを披露し、舞台を降りた後でも笑顔での交流があちこちで見られました。

♪今年は・・・令和6年9月21日(土)、ひらしん平塚文化芸術ホールで開催されます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



## リ・ユニオン繋ぎ直せる奇跡-Reunion concert

2023年8月27日(日)横浜市神奈川公会堂にて、79期中心の音楽コンサート「リ・ユニオン繋ぎ直せる奇跡-Reunion concert」が行われました。「79期生」に音楽家として活躍している人が多いことから、声楽家の吉岡小鼓音さんが中心となりコンサート実行に向け同期に呼びかけました。その輪が同世代、さらに世代間につながり、多くの真澄会員の方々のご賛同やご協力を得ることができ、まさに人々の絆を織りなすようなコンサートが作り上げられました。還暦を迎える年に初めて同期会を兼ねた音楽会として、プロの演奏家を含め約25人が出演し、大盛況のうちに終えることが出来ました。加えて、恩師、佐藤一夫先生に捧げるコンサートにもなりました。フィナーレでは、二宮玲子さん(75期)による新たな編曲の校歌が披露され、舞台と会場の全員が一体となった母校校歌の大合唱となりました。



「フレックス版校歌の楽譜」  
いかなる楽器編成にも対応可能な校歌のフレックス版スコアが行方不明になっていたため、作曲家の二宮玲子さん(75期)がアレンジ。この校歌編曲記念楽譜を母校に贈呈されました。この貢献に対し母校より感謝状が贈られました。  
(詳細は、真澄会ホームページをご覧ください)

## 121期新評議員の紹介

中田優斗さん 服部湊旺さん 山本修平さん 渡邊泰成さん

## 母校入学志願者と合格者の状況

年度	志願者数	合格者数(男子・女子)
2023(123期)	400名	318名(男子114名・女子204名)
2024(124期)	429名	319名(倍率1.32)